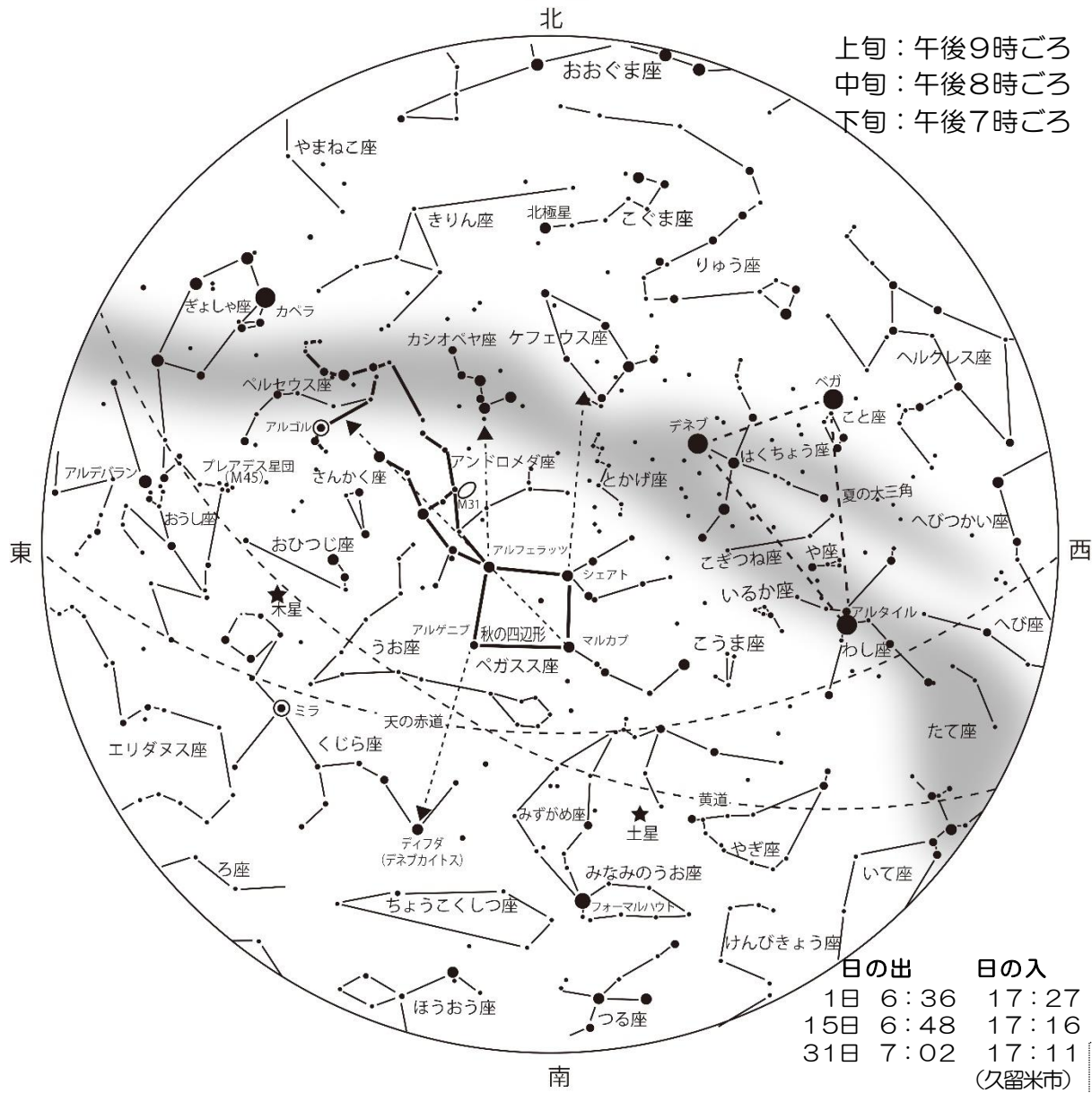


# 令和5年 11月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



上旬：午後9時ごろ  
中旬：午後8時ごろ  
下旬：午後7時ごろ

## ★11月の星空案内

この時期の夜空では、東の空に木星、南の空に土星が輝いています。特に木星は明るい星が少ない秋の夜空でひととき明るく輝いているため、見つけやすいでしょう。

秋の星座を探す目印になるのは、南の空高くにあるペガスス座です。ペガサスの胴体にあたるアルフェラッツ・シェアト・マルカブ・アルゲニブの4つの星でつくる四角形の星の並びは『秋の四辺形』とも呼ばれ秋の星座探しの良い目印となります。まず秋の四辺形のアルフェラッツからアルファベットの「A」の字のような星の並びを目印に、見つけられるのはアンドロメダ座です。そして、マルカブとアルフェラッツを結んだ線を北東にのばした先にある、漢字の「人」の字のような星の並びを目印に見つけられるのがペルセウス座です。また、マルカブとシェアトを結んだ線を北にのばしていくと細長い五角形の星の並びが見つかります。ここにあるのはケフェウス座です。同じように、アルゲニブとアルフェラッツを結んだ線を北にのばしていくと見つかるアルファベットの「W」の字のような星の並びを目印に見つけることができるのがカシオペア座です。最後に、アルフェラッツとアルゲニブを結んだ線を地平線の方へのばしていくと、「くじらのしっぽ」という意味の2等星ディフダが見つかります。ここにはくじら座があります。

今回紹介した星座はギリシャ神話「古代エチオピア王家の物語」に登場する人物や生き物の星座です。実際の夜空でこれらの星座を探してみるのはいかがでしょうか。

### 【見ごろの惑星】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

- 水星 (-0.8 等前後)：さそり座→てんびん座付近 観望に適さない。
- ☆金星 (-4.4 等前後)：おとめ座付近 日の出前、東の空でひととき明るく輝く。
- 火星 ( 1.5 等前後)：てんびん座→さそり座付近 観望に適さない。
- ☆木星 (-2.9 等前後)：おひつじ座付近 真夜中に、南の空高いところで明るく輝く。
- ☆土星 (0.7 等前後)：みずがめ座付近 日の入り後、南の空で明るく輝く。

日の出	日の入
1日 6:36	17:27
15日 6:48	17:16
31日 7:02	17:11 (久留米市)

### 注目の天文現象(11月) ~3つの惑星に近づく月のようすを観察しよう~

11月は、月が「金星・土星・木星」の3つの惑星へ近づき、月と惑星を同時に観察することができるチャンスが訪れます。

最初に11月9日(木)の日の出前に、金星に月が近づきます。このときの月は下弦の月から新月に向けて欠けていく途中の月です。空が明るくなる明け方に、細い月とひととき明るく輝く金星が並ぶ様子を楽しめるでしょう。

次に11月20日(月)の日の入り後に、土星に月が近づきます。このときの月は上弦の月で、日の入り頃に南中します。土星は0.8等で輝き、明るい星が少ない秋の夜空では見つけやすいでしょう。

最後に、11月25日(土)に、木星に月が近づきます。この月は27日(月)に満月をむかえるため、日の入り前後のまだ明るい空でも目につきます。日の入りから30分ほど経つと、月のすぐ下側に小さく鋭い光を放つ木星を見つけることができます。

今月は明るい3つの惑星に形を変えた月が近づく様子を観察してみたいかがでしょうか。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
5	日	☾ 下弦 (17:37)	18	土	しし座流星群が極大
8	水	立冬	20	月	☽ 上弦 (19:50)
13	月	● 新月 (18:27) おうし座北流星群が極大	27	月	○ 満月 (18:16)